|  |  |
| --- | --- |
| **会社ブログの役割** | **会社のことを多くの人に知ってもらい、興味・関心をもってもらう。** |
| **際立たせる優位性** | **すごいの出す、考え抜く、頭をひねる、ふんばる、ユーモア×品質、元気、感動、**  **お客様＆社員とのつながりを大事にする、助け合う、永続的成長、自己成長、**  **自己投資、顧客満足＆感動の追求、圧倒的スピードを重視、環境変化に対応、**  **おもしろい、常にポジティブ** |
| **絶対守ること** | **■セールス・広告感を出さない（売り感が強いものを好んで読む人はいない）**  **■リアルを書く（かっこつける・自社を称える記事は好かれない、入社後のギャップも生まれる）**  **■自由に書く（読者との接点を増やすためにいろーんな角度の記事を書く）** |

▼記事のテーマ

「クレドの通りに行動したら人生変わるのかやってみたシリーズ」～住吉、山67km走ってみた編～

▼記事を書く目的

会社の行動指針として価値観が表現されているクレドを、ただ紹介するのではなく、実際に体現する過程で紹介して面白く伝えることで、魅力的に感じてもらう。

※住吉が9月に熊本で山を67km走るレースに出るので、クレドに沿って練習する様子や大会の様子を、合計3記事にわたって、クレドの文言とともに紹介する。［逆算のプロセス設計］で目標を段階的に決め取り組む　等。

【キーワード】すごいの出す、ふんばる、元気、感動、おもしろい、常にポジティブ

▼記事のゴール（読者に感じてほしいこと）

「この人何してるんだ⁉」「なんだこの徹底ぶり（笑）」「ちょっと他の記事も読んでみよう」

▼記事内容

・大会参加に至った経緯（ここも［目標は高く明確に］と合わせて紹介）

・クレドの考え方でこなす練習メニュー（［逆算のプロセス設計］など）

・本番の様子（完走出来なかったり、コロナで中止になった場合は「常にポジティブ」「失敗に学ぶ」を紹介）

▼公開時期

2020年7月、8月、9月の3回更新

▼出演者

住吉のみ

＜タイトル＞

**※原稿は文字だけですが、画像は別途用意し公開時に反映させます。**

67kmの山道…過酷なレースに“会社の行動指針”を信じて挑んでみた　修行編

※この物語は、ハーブ健康本舗（以下「ハーブ」）社員・住吉が、会社が規定している「行動指針」の真の価値を問うために挑んだ、過酷な挑戦の軌跡である…。

**前回のつづき**

前回の［決心編］にて、目標は高く明確にする！というハーブの行動理念のもと、MIZUKAMI MOUNTAIN PARTY（水上マウンテンパーティー）という、トレイルランニングの大会に出場することを決めた住吉。コースは過酷な山道、67km！

いまの状態じゃ完走するのが厳しい…完走に向けて、練習しなくちゃ…。

**【常にチャレンジ】拡大可能な1勝を作るために、常にチャレンジし続け、現状を打破する**

現状に満足し、現状に留まることは、「退化」を意味します。だから、私たちは現状に留まることを断固拒否します。成功させにくい新しいことに日々挑戦し、努力と工夫を重ね、成功させるために前進し続けます。チャレンジする際は、事前にリスクとリターン、必要事項を正しく把握して小予算でテスト！私たちは、評論家ではなく勇気ある実践家、常にチャレンジし続けます。

最終目的は67kmの完走ですが、そのためにも日々のステップアップが必要です。日々、新しい挑戦を続けながら、

**【失敗に学びやりきる】チャレンジに失敗はつきもの。失敗しても後悔せず、失敗に学んで再チャレンジ、諦めない**

何事も順風満帆にコトが進めばいいのですが、新しいチャレンジに失敗はつきもの。大切なのは、「その失敗に何を学び、今後にどう生かすか」ということです。だから、私たちは失敗しても後悔せず、まずは冷静になり、現状を正しく把握、失敗の原因を特定し、結果思考でプロセスを組み直して再チャレンジします。失敗も成功するまでやれば、失敗ではない。諦めずにやりきります。

当然ながら山を走るレースですので、山を走る練習をしなくちゃ！と意気込むのですが、日々の練習不足はそのまま走りに現れます。先日も福岡県の糸島にある山々を4座（※）、マラソンサークルの友人と一緒に走りに行きましたが、頑張ろうという気持ちとは裏腹に、体がついていかず、暑さにもやられて、3座目で折り返すことに…。

※“山には神様が座っている”と考えていため、高い山は「座」で数えるそうです。

走り切れなかったのも悔しかったし、友達にも時間を割いて付き合ってもらったので申し訳なかったのですが、くよくよしてばかりいても本番はどんどん近づいてきます。

**【適切な判断を速くする】全体最適の観点で、「適切な判断」を速くする。そのために「広い視野」を身につける**

物事の一部だけを見て判断せず、視点を高くして全体を眺め、全体最適の観点から適切に早く判断ができるようになるよう、「広い視野」を身につけます。視野を広げるには、専門分野の（様々な媒体、機会、人、読書）からの情報収集に加えて、周辺分野の情報収集が欠かせません。収集した情報の「質」と「量」、そして「経験」が考え方のベースを作り、視野を広げるのです。

○○○○

**【ルールを守る】私たちは、円滑な組織運営をするため、会社のルールを順守する**

会社は、生まれも育ちも違う、様々な経歴、価値観を持つ人の集合体です。そんな違う経歴、価値観を持つ人たちが集まる組織が、ビジョン実現に向けて前に進んでいくには、基本的価値観、判断基準に加えてルールの共有が必要です。だから私たちは円滑な組織運営のため会社のルール（ベーシックルール、コミュニケーションルール、組織のルール、コンプライアンス等）を順守します。

クレドでは会社におけるルールに言及していますが、世の中にも様々なルールが存在します。MIZUKAMI MOUNTAIN PARTYにも、大会をスムーズに進行し、参加者全員が満足いく走りを楽しめるよう、大会規則や注意事項といったルールがあるので、大会前にしっかりとチェック。

特に、標高1000ｍを超える過酷な環境なので、命に係わるルールは厳密に読み込み、順守しなければなりません。コース上の案内や救助および医療援助の体制、途中棄権の方法をしっかり理解し、必携品も忘れずチェック。準備出来るところは早めに準備することにしました。

ちなみにMIZUKAMI MOUNTAIN PARTYでは、ウェアやトレイル用のザック（リュック）、靴に加えて、コースマップや水・携帯食、ファーストエイドキット、暗がりを進む用のライト等が必携品に設定されています。

しっかり必携品が入るよう、ザックを新調！装備品を用意すると、なんだか気合いが入ります。

・・・

今回はこれまで！次回はいよいよ本番です。

果たして完走できるのか…⁉